１学年　数学科　オリエンテーション

学習の進め方

芹が谷中学校のＨＰ（ホームページ）に載っている学習課題（１年数学）を見ながら、進めていきます。授業用ノート（Ｂ５サイズ、教科書と同じ大きさ）を用意して、作成しましょう。学習課題は、週１回程度更新していく予定です。

内容はおもに　「１．学習のタイトル（単元名など）」
「２．学習のねらいや目標」
「３．使用する教材等について」
「４．板書内容」
「５．課題について」　です。

学習課題の例

学習のねらいや目標を意識して取り組みましょう。

１章　正負の数　「１節－１　符号のついた数」

今回の授業：－（マイナス）のついた数は、どんなことを表しているか考えてみよう

授業の目標：正負の数の必要性と意味を理解する。

教科書：Ｐ８～Ｐ１２　副教材（基礎からの問題集）：Ｐ８

板書内容①

１節　正負の数

１－１符号のついた数

P10　０℃を基準にして

それより｛低い温度は『－（マイナス）』／高い温度は『＋（プラス）』｝を使って表す。

このとき

『＋』を正の符号（せいのふごう）、『－』を負の符号（ふごう）という。

①０℃より３℃低い温度　→　－３℃　　マイナス3℃と読む

②０℃より５℃高い温度　→　＋５℃　　プラス5℃と読む

問１　答（１）　　（２）

※＋５や＋８のような数は正の数、－３や－5.5のような数は負の数、０は正でも負でもない数である。

まとめ

整数

…、－３、－２、－１、０、１、２、３、…

負の整数　　正の整数（自然数）

正の整数を自然数（しぜんすう）ともいう。

問２　答　負の小数：　　負の分数：

P11　たしかめ１　答

板書内容を ていねいに授業用ノートにまとめましょう。

重要なところは赤で書かれてます！覚えましょう。

課題をよく読んで、取り組みましょう。

課題

１．教科書 P8～P10 を読み、上の板書内容①を授業用ノート（Ｂ５サ

２．教科書 P10 の問１、問２を解きなさい。

３．教科書 P11 の例１を参考にして、たしかめ１を解きなさい。

次のページを見て、答え合わせをしっかりしましょう。間違えた問題はもう一度解きましょう。

【前ページの解答】

２．P10　問１（１）－5.5℃　（２）＋8℃

問２（例）負の小数：－2.7　負の分数：$-\frac{3}{5}$

P11　最深部が海面より 170m 低いこと。

用意するものは　教科書（補助教材ふくむ）
授業用ノート（Ｂ５サイズ）
基礎からの問題集（副教材）　の３点セットです。

授業用ノートについて（取り方）

→サイズはＢ５（教科書と同じ）のノートとする。ルーズリーフは、不可とします。

→誰が見ても見やすいノートを心がける。詰めすぎて書かない。

→授業の日付と教科書のページ数は、記入しましょう。

→間違った問題や分からなかった問題は、赤で正答を書く。間違いを消さない。

→問題文は、書いても書かなくてもよい。問題を解く時間を増やすこと。

→色は、黒・赤・青の３色でまとめるとよい。多くても４色が望ましい。

→授業で配られたプリントは、広げた状態でノートからはみ出さないように貼る。

→必要に応じて、先生の話や友達の考えも書き込むとよい。

→分からないところに印（または付箋）をつける。そして、先生、友達、家族、聞きやすい人のところに持って行き、解説をしてもらう。その解説を書き込む。

→授業の終わりに、授業の振り返りや自己評価したものが書かれているとよい。

授業ノートの評価

Ａ○（授業の内容が書かれている、丁寧にみやすくまとめられている、努力がよく見られる、さらに自分なりの工夫がある）
Ａ　（授業の内容が書かれている、丁寧にみやすくまとめられている、努力が見られる）
Ｂ　（授業の内容が書かれている、まとめられている）
Ｃ○（問題をあまりやっていない、ところどころ抜けている、まとめが丁寧でない）
Ｃ　（未提出、ほとんど書き込まれていない）

基礎からの問題集（副教材）について

→何回も繰り返し行うことで力がつきます。その際、別のノートを用意し、「努力ノート」を作成しましょう。特に間違ったところのやり直しをしっかりやりましょう。

→おすすめの取り組み方

１回目：努力ノートに取り組む。

２回目：直接問題集に書き込む。

３回目：２回目に間違えた問題をもう一度解く。

基礎からの問題集（副教材）の評価

Ａ○（全ての問題で過程をふくめてしっかりと解いてあり、よく努力がみられる。マル付け・直しが丁寧にされている）
Ａ　（ほとんどの問題で過程をふくめて解いてあり、マル付け・直しが丁寧にされている）
Ｂ　（大体の問題を解いてある、マル付けがされている）
Ｃ○（途中式が足りない、ところどころやっていない、マル付けがされていない）
Ｃ　（未提出、ほとんど書き込まれていない）

※分からない場合は解答を写しても構いませんが、その場合は赤ペンで、途中式をきちんと書いた上で提出しましょう。また、分からない問題は先生に聞くなど、分かる努力をしましょう。

学校再開後の授業について

１年生の数学は週４時間授業があり、どのクラスも美代が中心となって、授業を進めます。また、週に２時間、大川先生がサポートをしてくださいます。わからないところがあったらそのままにせず、積極的に質問をしましょう！

観点別評価について

数学は，「関心・意欲・態度」「見方・考え方」「技能」「知識・理解」の４観点に分かれます。

観点	授業中の態度・様子 持ち物･忘れ物	問題集･夏季課題 授業ノート等	定期テスト	小テスト	朝学習
関心･意欲･態度	◎	◎	△	△	○
見方･考え方	○	○	◎	○	△
技能	○	○	◎	○	○
知識・理解	○	○	◎	○	○

※主なチェック項目は上の通りですが、授業の様子を見ながら変更する場合もあります。

テストの評価について

観点ごとに問題がつくられています。それぞれの観点ごとの得点を見て、次のカッティングポイントに従って評価をします。また、観点によって得点の比重を大きくしたり、小さくしたりします。

A○…およそ 90％以上／A…およそ 80％以上／B…およそ 50％以上／C○…およそ 20％以上／C…およそ 20％未満

評定について

観点別評価を点数化し、その合計点数によって評定を出します。

Ａ゜＝５点、Ａ＝４点、Ｂ＝３点、Ｃ゜＝２点、Ｃ＝１点

評定	観点別評価の合計
5	１８点～２０点
4	１４点～１７点
3	１１点～１３点
2	８点～１０点
1	４点～　７点

例えば

観点別評価が「関→Ｂ、考→Ｃ゜、技→Ａ、知→Ｂ」だった場合は、

点数の合計が３＋２＋４＋３＝１２点となるので評定は「３」になります。